

「北上おでんせ」が板橋区で披露されました

2025年11月23日(日)、板橋区立文化会館にて、板橋区、民踊連盟及び国際交流財団が共催する恒例の文化祭「民踊のつどい」が開催されました。毎年、多くの民踊団体が新しい演目を稽古し、公演を行っています。

「民踊のつどい」のプログラム22番として、板橋区赤塚地区の団体「千鳥会」の皆さんのが「北上おでんせ」を披露しました。千鳥会の一員が北上市の「北上・みちのく芸能まつり」市民パレードでの「北上おでんせ」に魅了され、グループで稽古を重ねて発表することに至りました。

当日の公演は終わりましたが、唄ばやし「ソレトッピンパラット パンパラリン ワッパガキメタラ ハレットナ」の軽快な余韻も残っており来夏の地元盆踊り大会では「北上おでんせ」を曲目の一つとして計画しているようです。

「北上おでんせ」は昭和の終わりごろ、「北上さんさ踊り」だけでは市民パレードが少し淋しいという話が出て新たに創作された踊りのようです。「おでんせ」という言葉は岩手県地方の方言で「おいでください」「いらっしゃい」を意味しており、明るく親しみやすい踊りと軽快な歌で、見る人に楽しさを届けてくれる作品です。当時、振付に携わった先生は現在も翔南高校などで振付指導されていることです。(加藤ゆりいか氏 談)

また、当日は北上ふるさと会の小原磯則顧問にもご多用の中ご来場いただきました。このイベントでは、北上市の文化が広く紹介される場となり、大変意義深いものとなりました。

(北上ふるさと会 幹事 篠崎清吉 記)

添付資料： 民踊のつどい プログラム
北上おでんせ 歌詞

https://drive.google.com/file/d/1aSopkh2S5TaSIhCioPODgyP6bcIII7QY/view?usp=drive_link